

# ホストファミリー説明会が開かれました

野中泰子（国際交流部会）

国際交流部会では姉妹都市タスカルーサ市から2年毎に派遣される高校生のホストファミリーを通年で募集しています。その周知活動の一環として、8月24日(土)、谷津コミュニティセンターにて「ホストファミリー説明会」を開きました。

会場には16名の市内の方が集まり、「姉妹都市交流事業の説明」「ホストファミリー経験者の体験談」「習志野市からの元派遣高校生の交流体験談」「子供のためのクラフト教室」「ネイティブによる英語絵本の読み聞かせ」の5つのブースを順番に回りました。

各ブースでは、ホストファミリー経験者の体験記、NI-Youthが協力した受入派遣事業の記録や、たくさんの写真を使ったパネルを使って説明されました。大人たちには幅広く事業について知ってもらうことができ、子供たちにはうちわを作ったり英語にふれる楽しい時間になりました。

集まった皆さんの共通の気持ちは、やはり「言葉と文化の壁」でした。9名のホスト

ファミリー経験者からの「スマホなどで無料の翻訳アプリを駆使して乗り越えた」「言葉や文化の違いなどで意思の疎通が難しい時も、お互い理解し合おうという気持ちがあるので大丈夫」などのアドバイスに、皆さん真剣に聞き入っていました。NI-Youthメンバーを含め8名が参加した元派遣高校生による、習志野とタスカルーサの両市で交流した話に、ホストファミリーとして高校生と過ごすイメージが湧いた方もいた様子でした。

子供たちが目をキラキラさせながらネイティブが読む絵本を聞く姿には、彼らが多様化、国際化の流れに自然に乗っていく予感とともに頼もしさを感じました。

今回新しくホストファミリーに登録してくださった方がいて手応えを感じています。今後もこのような説明会を折々開催して姉妹都市交流事業について広く地域の皆さんに知ってもらいながら、ホストファミリーを増やしていきたいと考えています。



子供のためのクラフト教室でうちわ作り



これまでの活動をパネルも使って説明